

発明の名称:適応型テストシステムとその方法

利用・用途・応用分野

語学や特定分野の知識やスキルのレベルを判定するテストシステム。
教育、訓練の習熟度などを判定。

目的・課題

語学や情報リテラシの知識、スキル等学生能力のばらつきの大きい学習者集団を教育する場合、能力別クラス編成での教育が有効である。能力別クラス編成する際に行う、プレースメントテストでは、広い範囲の知識やスキルを測定するため、多くの問題数が必要であり、且つ受験所要時間が非常に長くなる。受験者には負担を強いる。

解決ポイント

インターネット環境下で、受験者に対して複数のレベルに分けて問題を出題し、解答の正答率によって問題のレベルを昇移動・降移動させ、受験者のレベルを判定する。

研究概要・アピールポイント

- ◆ 少ない問題数で信頼性の高いレベル分けテストが可能。
- ◆ 適応型テストシステムでは、レベル数、レベル間の昇移動・降移動を決定する問題に対し、解答選択肢の正答率又は誤答率、及び昇移動のレベル幅と降移動のレベル幅に関するデータを任意に設定可能。
- ◆ 受験者の能力レベルの判定精度を任意に設定可能。
- ◆ インターネット利用環境であれば、遠隔地でも受験可能。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティ-エル-オ- TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp